

地域がん診療拠点病院の整備に関する指針についての充足表

指定要件等	必須:A, 非必須:B	1 (独)国立病院機構北海道がんセンター(国立札幌病院)
所在地		北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		北海道(札幌保健医療福祉圏)※同一医療圏で推薦中 2, 260, 845人(平成15年3月31日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	77.3%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
<b>1 診療体制</b>		
<b>(1)診療機能</b>		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P1~P12
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟無 緩和医療チームによる緩和医療体制を整備
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 医療連携室を開設し、各医療機関と連携 全国の国立病院機構とを結んだ消化管テレビイメージカンファレンスの実施ほか
<b>(2)診療従事者</b>		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 学会認定資格などを有する専門医師68名(常勤59, 非常勤9)により対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 外来化学5、がん専門看護師
○精神保健福祉士	B	× 配置なし
○臨床心理に携わる者	B	○ 非常勤1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤2名 その他1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤5名(学会認定医2名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤2名(学会認定医2名)
<b>(3)医療施設</b>		
①医療相談室の設置	A	○ 有(1室)
②集中治療室の設置	B	○ 有(8床)
③無菌病室の設置	B	○ 有(5床)
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 有(リニアック室3)
<b>(4)医療機器</b>		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック3台、MRI1台、マルチスライスCT2台、二次検出器型ガンマカメラ1台、RA LS1台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線科専門医師2名、診療放射線技師を配置
<b>(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立</b>		
	A	○ 昭和43年整備済(登録者45, 903人)
<b>2 研修体制</b>		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 講習会、セミナー、講演会の開催 各科ごとに症例検討会、懇話会、診る会、セミナー、研究会等を開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 症例検討会、病理等カンファレンス、勉強会、研修会等の開催
<b>3 情報提供体制</b>		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 病院概要、診療科の特徴、がん医療について、入院・外来案内、講演会の案内、がん情報ネットワーク、診療科部門別情報等について公開している
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○ 地域医療機関からの診療に関する相談対応、医療連携室を通じての患者情報、医療情報の適宜提供、講演会などを通して情報の提供を行っている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 全国的ながん情報の収集、業績集及び広報誌の発行によるがん情報の提供を行っている

指定要件等	必須:A, 非必須:B	2 市立札幌病院	
所在地		北海道札幌市中央区北11条西13丁目1-1	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		充足度	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		北海道(札幌保健医療福祉圏)※同一医療圏で推薦中 2,260,845人(平成15年3月31日現在)	
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	18.2%(平成15年)	
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P13~P20
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和ケアチームにより、緩和医療体制を整備。(医師、認定看護師他7名)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	大学病院等医療機関との共同研究、患者の転送及び紹介 医療支援室を設置し、疾病・病診連携等を実施
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	学会認定資格医などを有する専門医師22名(常勤20、非常勤2)により対応
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	緩和ケアチーム2名(認定看護師1名)
○精神保健福祉士	B	×	配置なし
○臨床心理に携わる者	B	×	配置なし
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	常勤1名 非常勤4名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	×	配置なし
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	常勤2名(学会認定医)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	常勤4名(学会認定医3名)
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	1室
②集中治療室の設置	B	○	病床数12
③無菌病室の設置	B	○	病床数4
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	リニアック室2
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック2台、MRI1台、マルチスライスCT1台、ヘリカルCT2台、3面ガンカメラ2台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線科専門医師2名、診療放射線技師を配置
(5)院内がん登録システム(診療見込みを含む)の確立			
	A	○	平成15年1月より実施
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	談話会、セミナー、研究会等の開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	院内研修会、診療科内カンファレンス等の開催
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	病院概要、疾患別専門分野等の情報について公開している
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○	医師会等との連携を取りながら、地域の医療機関からの診療に関する相談対応や情報提供等を行っている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	札幌市内2医科大学病院との情報交換、国内外のがん情報の収集等を行っている

指定要件等	必須:A, 非必須:B	3 砂川市立病院	
所在地		北海道砂川市西4条北2丁目1番1号	
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度	北海道(中空知保健医療福祉圏) 134,689人(平成15年3月31日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		18.8%(平成15年)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
<b>1 診療体制</b>			
<b>(1)診療機能</b>			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P21~P70
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和医療チームによる診療体制を整備 (医師、看護師、放射線技師、薬剤師、栄養士、精神保健福祉師、MSW等)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	症例検討や診断について地域の医療機関及び大学病院と連携している
<b>(2)診療従事者</b>			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	学会認定資格などを有する専門医師37名(常勤30, 非常勤7)により対応
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	△	緩和ケア7、外来化学4、がん専門看護師H18配置予定
○精神保健福祉士	B	○	常勤1名
○臨床心理に携わる者	B	○	非常勤1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	常勤3名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	常勤1名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	非常勤1名(学会認定医)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	常勤1名・非常勤1名(共に学会認定医)
<b>(3)医療施設</b>			
①医療相談室の設置	A	○	3室
②集中治療室の設置	B	○	病床数8(麻酔科4, 脳外科4)
③無菌病室の設置	B	×	H16整備予定(1床)
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	リニアック1室
<b>(4)医療機器</b>			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック1台, MRI12台, マルチスライスCT2台, ガンマカメラシステム2台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線科専門医師1名、診療放射線技師を配置
<b>(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立</b>			
	A	○	平成13年整備済(登録者4,037人)
<b>2 研修体制</b>			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	研究会、懇話会、症例検討会等の開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	内科、外科合同カンファレンス、剖検検討会、医局勉強会、講演会の開催
<b>3 情報提供体制</b>			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	病院概要、診療案内、各科紹介(診療内容、実績、統計等)ほかについて公開
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○	地域医療機関からの診療に関する相談対応、CT・MRI・RI、血液検査等の利用と読影カンファレンス、ビデオ研究会の開催等により情報を提供している
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各科専門誌、学会、講演会からの情報収集及び病院広報誌等により情報提供を行っている

指定要件等	必須:A, 非必須:B	4 王子総合病院
所在地		北海道苫小牧市若草町3丁目4番8号
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度:
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		北海道(東胆振保健医療福祉圏) 219,688人(平成15年3月31日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	11.2%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P71～P79
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟無 緩和医療チームによる緩和医療体制を整備
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 超高度なレベルの手術は大学病院と連携、地域の医療機関と受け入れなどを連携
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 学会認定資格などを有する専門医師13名(常勤12, 非常勤1)により対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 緩和ケア3, 外来化学2, がん専門看護師配置予定
○精神保健福祉士	B	○ 非常勤1名
○臨床心理に携わる者	B	○ 非常勤1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤2名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤1名(学会認定医)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 非常勤4名(学会認定医2名)
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 1室
②集中治療室の設置	B	○ 病床数8
③無菌病室の設置	B	○ 病床数1
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ リニアック1室
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック1台、MRI2台、CT2台、シネアンジオ1台、RI1台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 放射線科専門医師1名、診療放射線技師を配置
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成16年度より実施予定
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 地域の医療機関に対し症例検討会、講演会等の開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 症例検討会、勉強会、講演会の開催
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 病院概要、診療案内、各科紹介、医学教室、予防健診等について公開
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 地域医療連携室からの報告書、年報、研究会、講演会等の情報提供を行っている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 院内がん登録システム整備後5年生存率等の情報提供を行う 学会参加等により最新のがん情報を収集している

指定要件等	必須:A, 非必須:B	5 JA北海道厚生連 旭川厚生病院
所在地		旭川市1条通24丁目111番地3
<b>I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定</b>		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		北海道(上川中部保健医療福祉圏) 417,912人(平成15年 3月31日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	21.2%(平成15年度)
<b>II 拠点病院の指定要件</b> (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
<b>1 診療体制</b>		
<b>(1) 診療機能</b>		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P80~P88
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟無 緩和医療チームによる緩和医療体制準備中(平成17年1月より)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 道内3医大とがん診断、治療等との連携協力体制が構築されている。近郊医師との病診連携を図るため、院内に地域医療連携室を設置。
<b>(2) 診療従事者</b>		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 学会認定資格などを有する専門医師により対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	△ 外来化学療法看護師2名、看護師配置なし
○精神保健福祉士	B	× (配置なし)
○臨床心理に携わる者	B	× (配置なし)
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤2名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 放射線治療医2名(学会認定医1名)、病理専門医2名(学会認定医1名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○
<b>(3) 医療施設</b>		
①医療相談室の設置	A	○ 3室
②集中治療室の設置	B	○ 25床
③無菌病室の設置	B	○ 2床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ リニアック1室
<b>(4) 医療機器</b>		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック、CT、MRI、アンギオ、超音波内視鏡システム、乳腺X線撮影装置 ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 医師、看護師、診療放射線技師
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 平成10年度整備 平成14年度分実績86名
<b>2. 研修体制</b>		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 消化器病セミナー、緩和医療研究会などの開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 症例検討会、研修会、カンファレンスの実施
<b>3 情報提供体制</b>		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 病院概要、外来、入院案内、外来診療科、施設案内等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○ 巡回ドック等で地域病院と連携し精密検査、事後フォローを含めたがん検診を実施。検診データより疾病統計を蓄積、地域へ情報還元。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 大学とがん診断、治療等の連携協力体制を構築。がん各界や研究会に参加。データを提供と他医療機関医師と治療研究を実施。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	6 総合病院北見赤十字病院	
所在地		北海道北見市北6条東2丁目1番地	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)			北海道(北網保健医療福祉圏) 245,373人(平成15年3月31日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		16.7%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P89~P98
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和医療チームによる緩和医療体制を整備
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	地域医療連携室を設置し、各医療機関との連携を図っている。 (H14紹介患者数8,165件)
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	学会認定資格などを有する専門医師48名(常勤)により対応
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	△	外来化学療法看護師17名がん専門看護師H17配置予定
○精神保健福祉士	B	○	常勤3名
○臨床心理に携わる者	B	○	常勤1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	常勤4名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	常勤6名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	常勤2名(学会認定医1名)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	非常勤1名(学会認定医1名)
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	2室
②集中治療室の設置	B	○	病床数7
③無菌病室の設置	B	○	病床数4
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	リニアック1室
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニアック1台、MRI1台、マルチスライスCT1台、ガンマカメラシステム2台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	放射線科専門医師2名、診療放射線技師2名を配置
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○	平成16年度より実施予定
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	各領域のがん診療をトピックスとした「オホーツクがんネットワーク」を準備中、遠隔/散在する施設間で一同に集まることが難しいため、IT利用、インターネット利用の研修会も考慮し実施
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	がん化学療法研修会、外来化学療法研修会の開催
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	病院概要、診療案内、地域医療連携情報、医療相談室情報、住民からの相談回答等について公開している
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○	地域医療連携室情報において、研修会・講演会案内、登録医案内等の情報提供を行っている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している。